

新型コロナに負けない！！⑥

秩父おもてなしTV 2020/4/22～「新型コロナから秩父を守る」より抜粋

今、テレビや新聞では有名な専門家や研究者が、一日中コロナウイルスの話をしています。東京ではPCR陽性者が何人出たとか、医療崩壊が始まっているとか、皆さんを不安にさせるような報道ばかりですが、ここでは「今、秩父の皆さんが何に注意したら良いのか」についてお話しします。

①落ち着いて行動しよう

情報が氾濫しています。メールやLINEで「病院が大変なことになっています、大至急メールを拡散してください」などというチェーンメールがきていませんか？これは皆さんを不安にさせているだけです。医師名、病院名が書かれていても、その実態はわかりません。本当に信用できる情報なのかを判断して、**落ち着いて行動してください**。幸いにも久喜市長は医師なので、そのへんはわきまえた情報を発信してくれていると思います。

②受診のルールを守ろう

このような時だからこそ、**ルールを守って医療機関を受診して下さい**。「コロナ感染」が心配な人は、いきなり病院や医院を受診しないで、県民サポートセンターへ電話して指示を仰いで下さい。電話番号は0570-783-770です。コロナに限らず、発熱や体調不良があっても医療機関を受診する時は、**必ず電話してから受診してください**。発熱者の診療時間を分けている医療機関もありますし、他の患者さんや職員が濃厚接触者にならないための準備も必要です。万一その医療機関が閉鎖になった場合、日常通院している患者さんが困ってしまいます。

また秩父市立病院や秩父病院、皆野病院のような救急病院に院内感染が起ってしまうと、救急患者の受入れができなくなって、具合が悪くなった時、秩父のなかで行ける病院がなくなってしまいます。**皆さんの心構えひとつで、秩父の救急医療の崩壊は防げます**。

③連休中の帰省はひかえよう

まだ秩父にはコロナの大きな流行はなく、一見安全な所だと思われがちです。都心から子供が預けられていたり、帰省していたり、妊婦さんが里帰りしているのを良く見かけます。秩父への疎開を否定するわけではありませんが、実はこのようにしてウイルスが運ばれるのも確かです。そのような時はせめて**2週間の自宅待機**をお願いしたいと思います。お孫さんをミューズパークで遊ばせてやりたい気持ちはわかりますが、万一お孫さんがウイルスに感染していた場合、周りの皆さんにうつしてしまうことになります。ゴールデンウィークも気がかりです。**秩父は人口が少ないので、他の地域よりもベッドなどの医療資源が少ないです**。大流行になったら大変なことになります。

④自分が感染しているつもりで行動しよう

まだ秩父の人の意識は低いように思います。何かにつけて集まる傾向があります。買い物に子供を連れて行くのはやめましょう。できれば代表一人で行きましょう。品物に触ったり、品定めはやめましょう。知合いと立ち話などせず、メールやLINE、電話でコミュニケーションをとりましょう。自分が感染しているつもりで行動してください。

⑤うわさ話はやめよう

秩父の人はうわさ話が大好きです。そして秩父は狭いからすぐにうわさが広まってしまいます。患者さんは被害者です。無責任なうわさ話はやめましょう。

⑥コミュニケーションが大切

ここまで人との接触を控えて欲しいと話してきましたが、今のような状況が長びくと必ず心の問題が出てきます。うつになる人も出てくるでしょう。しかし秩父には隣組やお祭りの仲間など、世代を超えたコミュニティが残っています。電話やメールなどを活用して、お互い励まし合って、コロナウイルスに立ち向かっていきましょう。

文責 井上 靖